

# 山手地区基本構想調査報告書

—山手地区のすがた その将来像を提案する—



1982.03

日本都市計画学会

# 目次

P3 ~ P8

P9 ~ P14

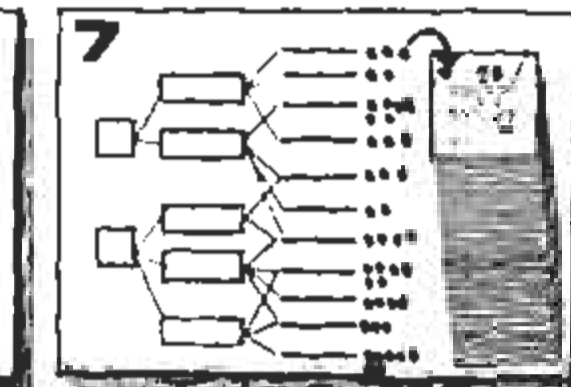
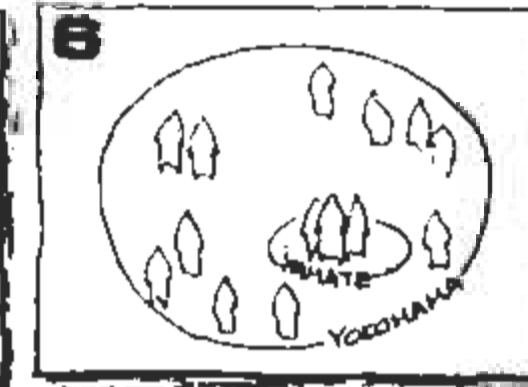
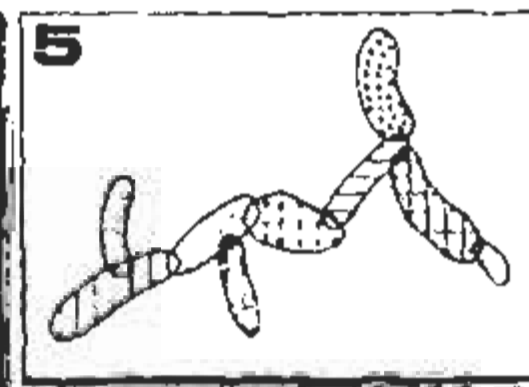
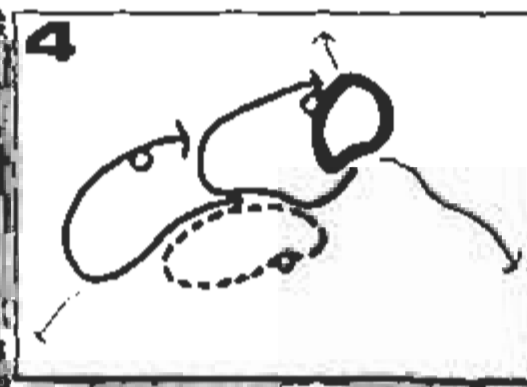
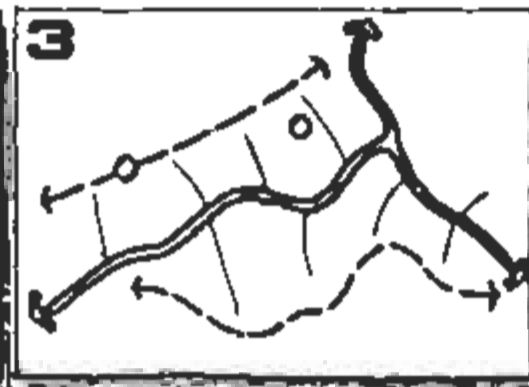
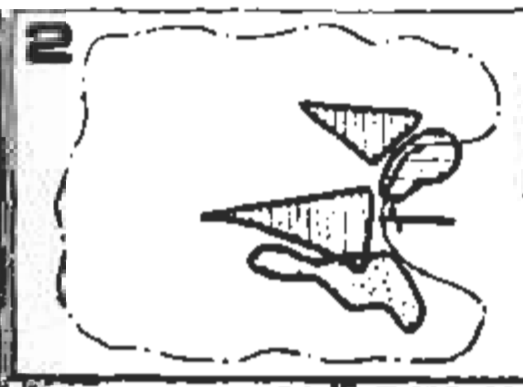
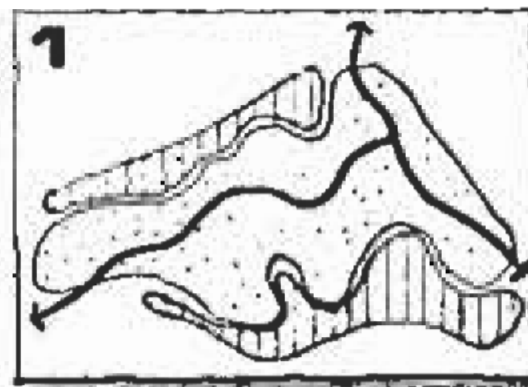
P15 ~ P26

P27 ~ P31

P32 ~ P51

P52 ~ P55

P56 ~ P57



## 1. 山手地区のすがた

地区の持つパブリックイメージを整理していままでの調査等による情報を加えて問題点を明らかに示す。

## 2. 山手地区の位置づけ

地区が都心部として持つ“複合性”を示し、計画の中に常に含まれるべき3つの視点で山手のすがたを明らかにしている。

## 3. 既存の構造を強化する姿勢で

山の手から下町までふくんだ計画地区を4つのサブディストリクトに分けて、それぞれの持つ構造を生かして環境が特化されるべき姿を示し、すぐれた景観・眺望を保全するための提案を行う。

## 4. 新しい構造を重ね合わせて

山手(山の手)をクローズアップして、本構想の中で戦略的性格の強い要素をひとつにまとめ、プロジェクト性のある提案として、異なる組合せの構造を示す。

## 5. 場所ならではの環境・景観づくり

山手地区を構成する部分の群についてそれぞれの個性を育てる方向で将来イメージを提案する。  
道路を中心に宅地も含めた市のある景観ベルトに対して、カルテ(処方箋)をつくる。

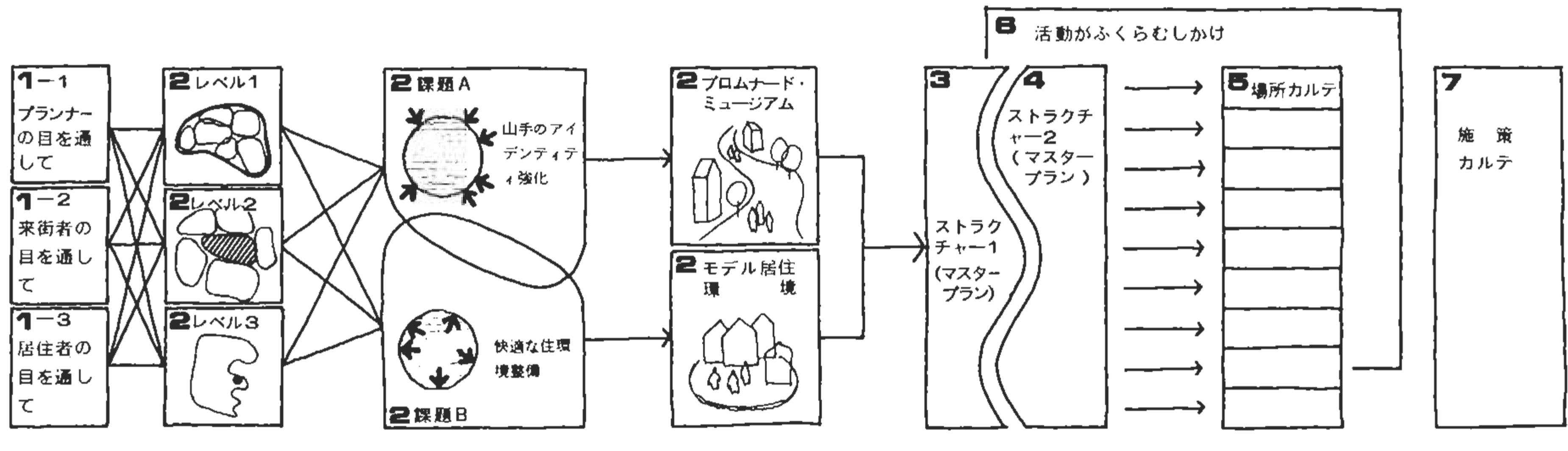
## 6. 横浜市民と山手住民の活動の場として

山手地区の環境を良くしていくために、市民は、住民は何をすることができるか。またそうした街づくりの活動のメニューを示す。“山手まちづくり講”の提案。

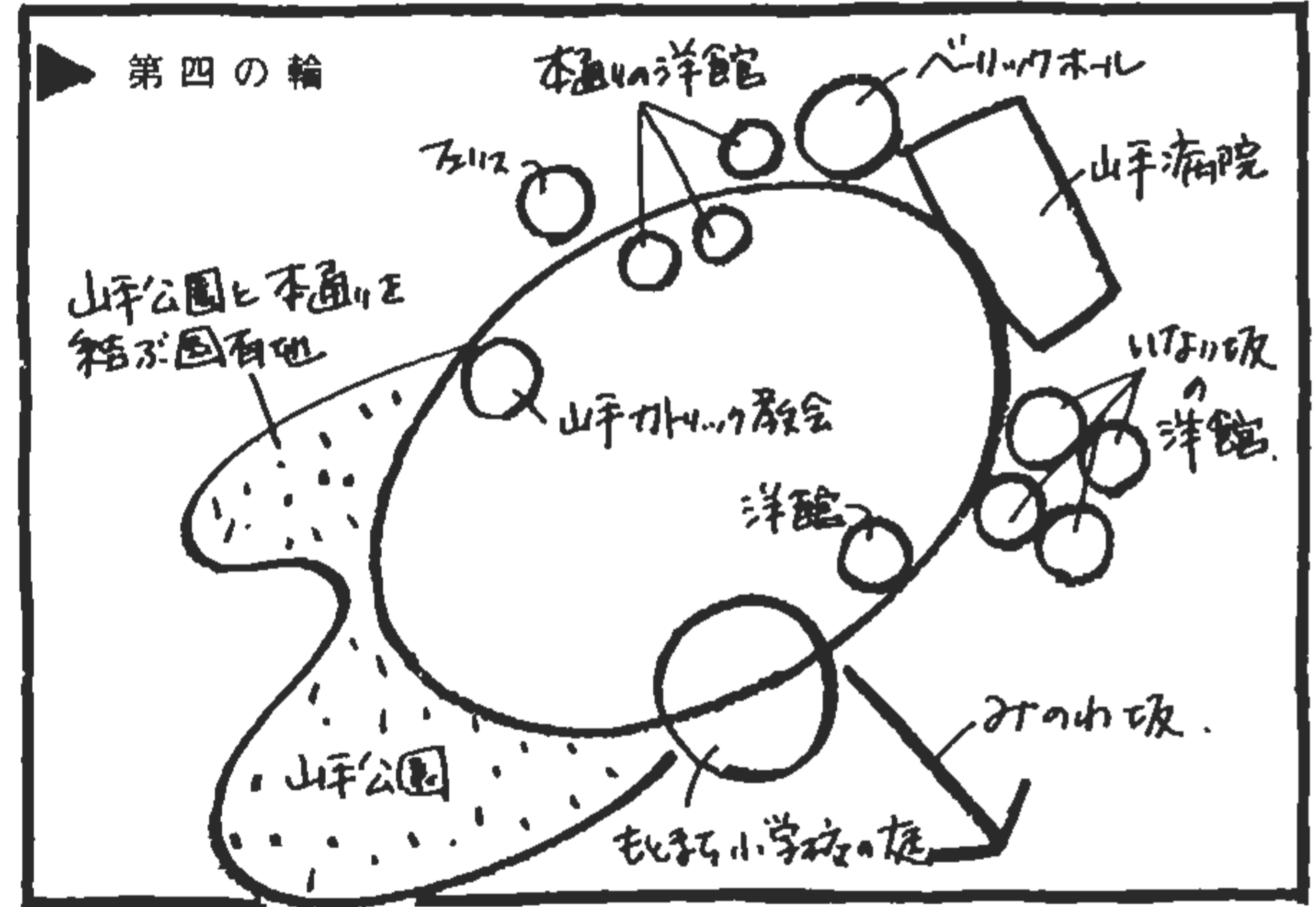
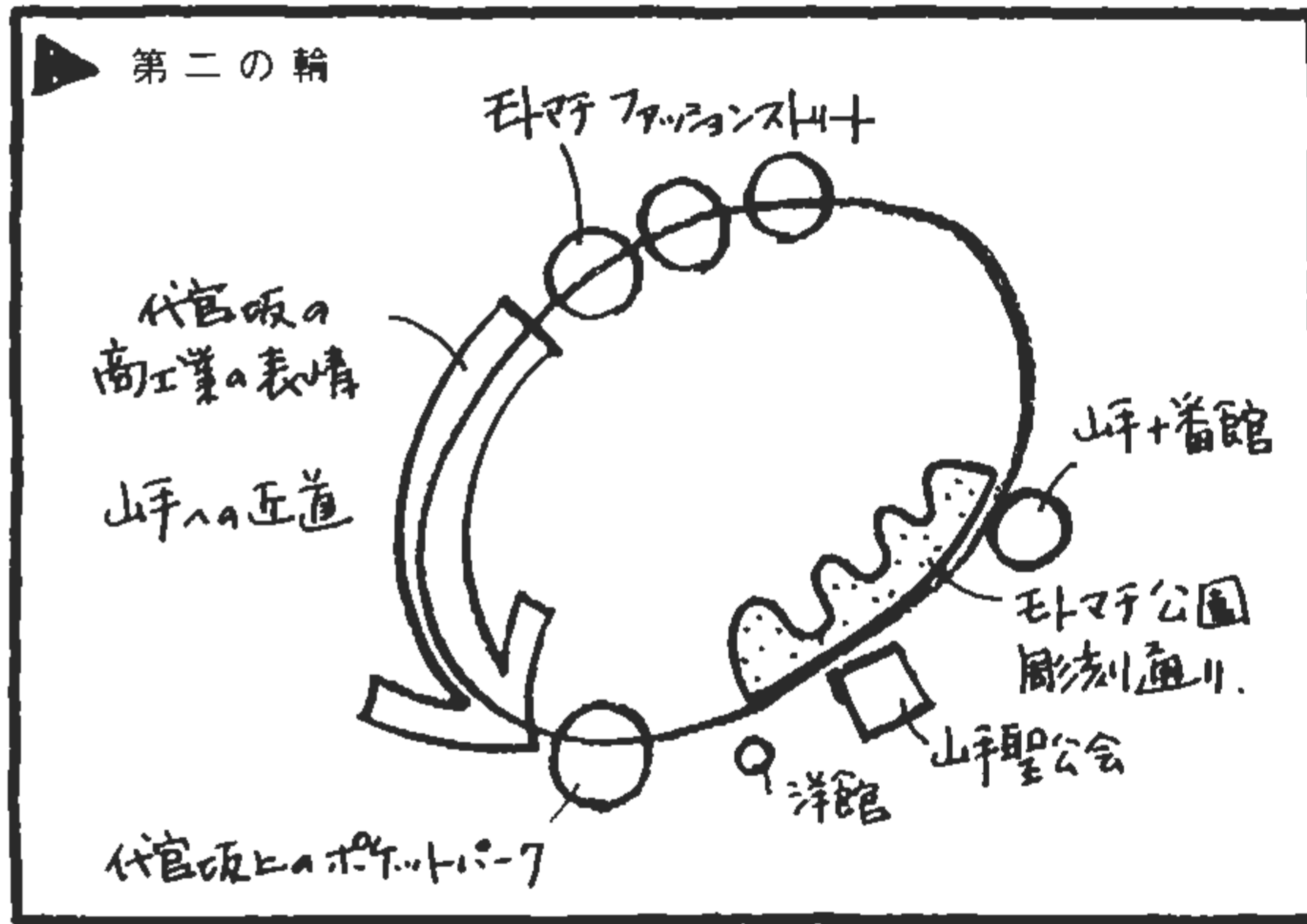
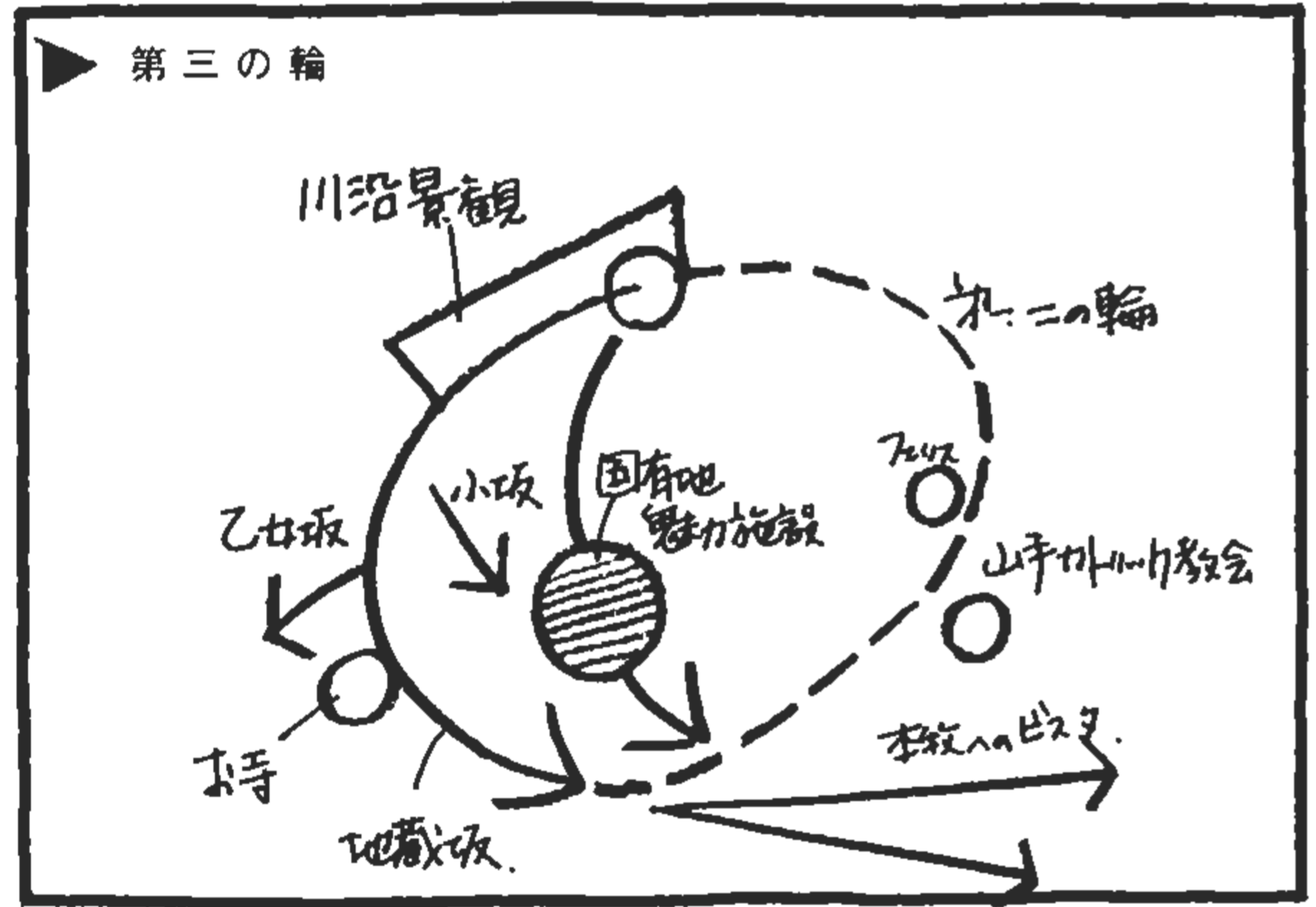
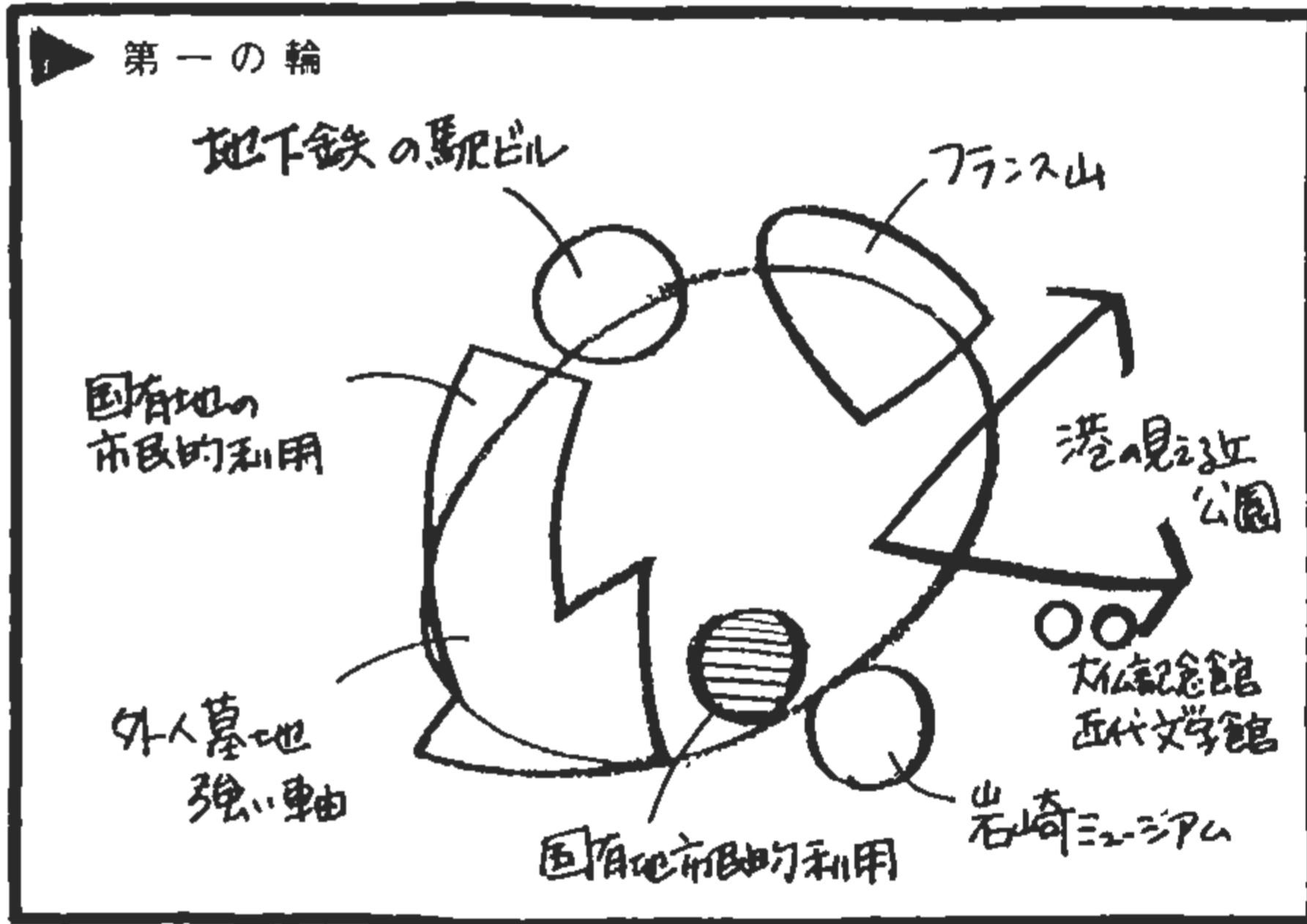
## 7. 理念から施策へのフローチャート

3456で抽出される個々のまちづくり行為を“施策カルテ”に分類整理し、施策としての性格、対応を明らかにする。

### ● 報告書の流れ



# 4. 新しい構造を重ね合わせて





4. 新しい構造を重ね合わせて





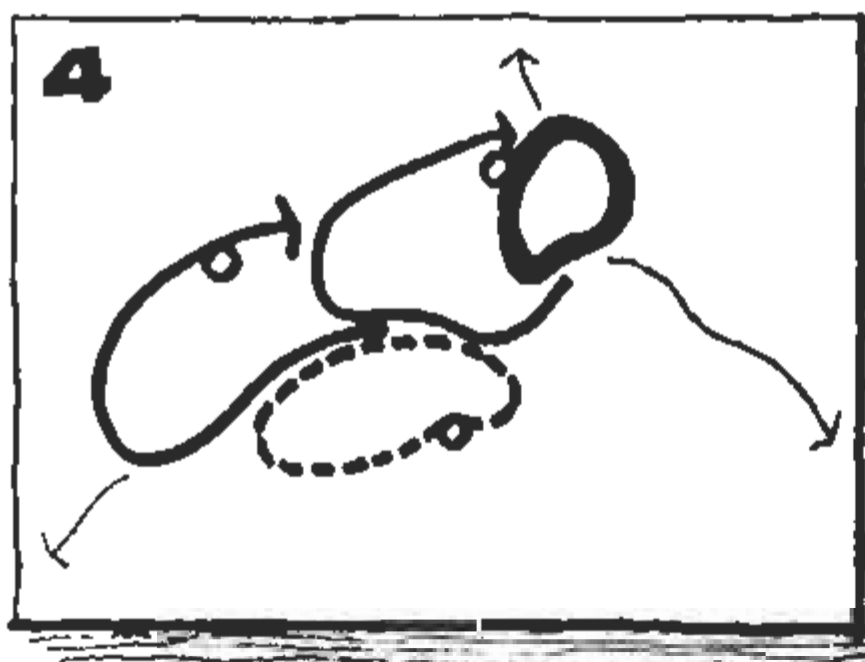
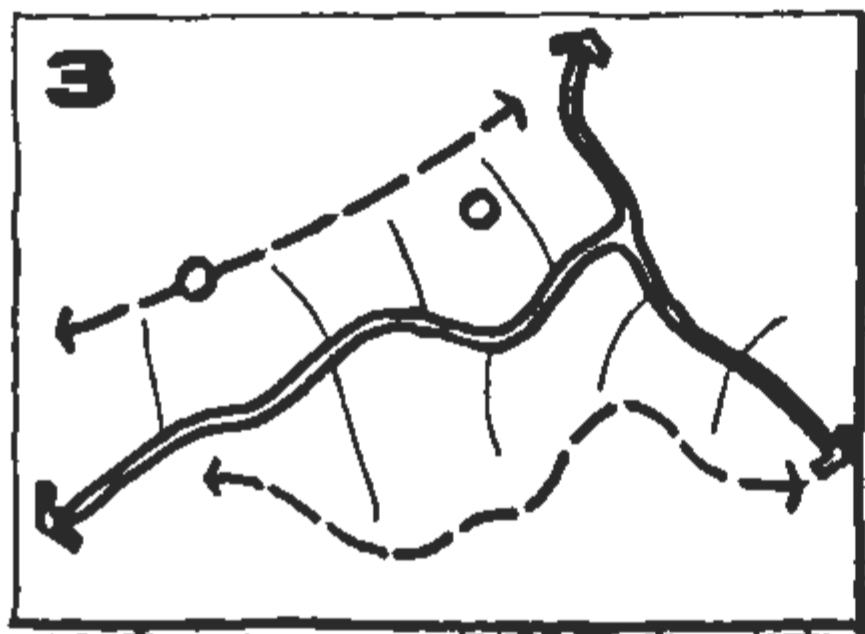
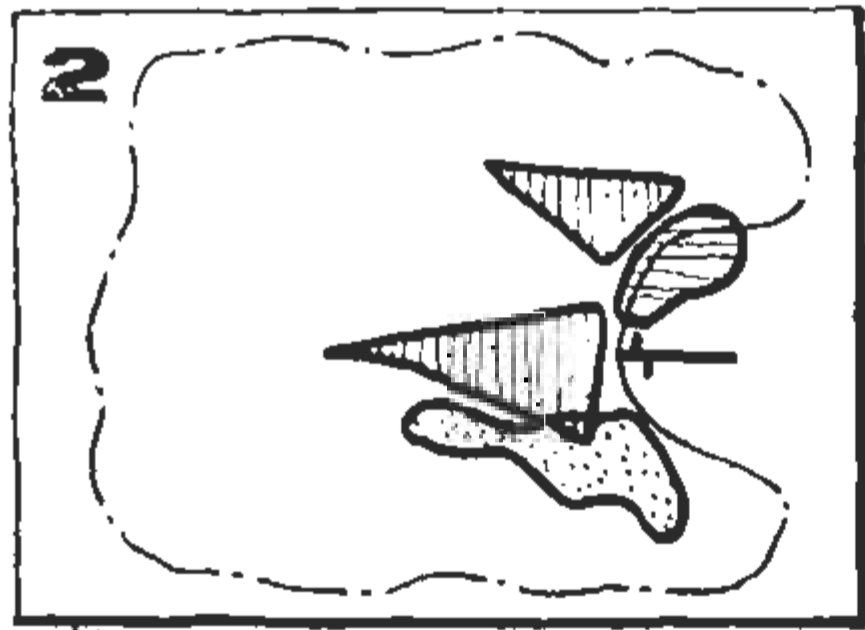
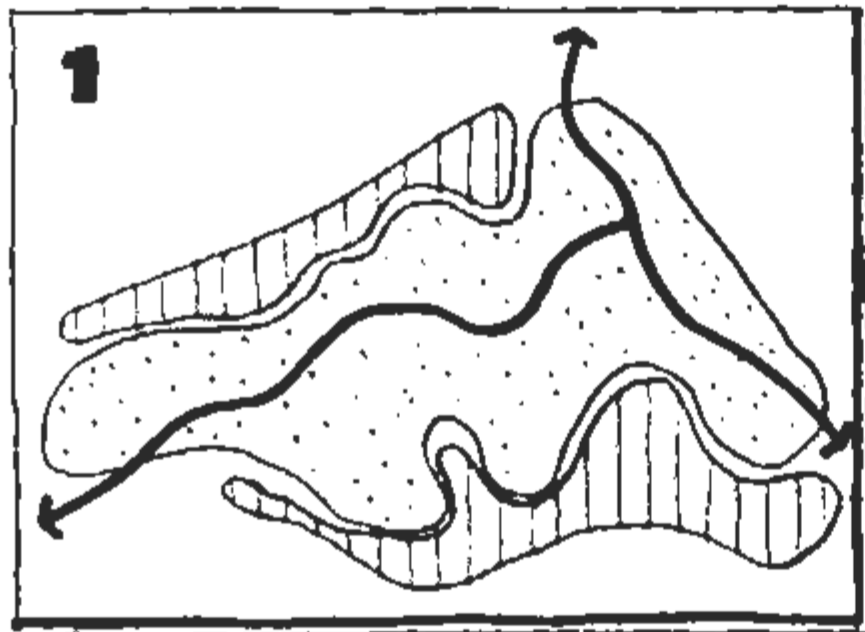
# 山手地区のすがた

その将来像を提案する

1982.03

日本都市計画学会

考  
え  
方



構  
想

山手地区のすがた

(地区の持つパブリックイメージを整理して、  
いすばの調査等による情報を加えて  
問題を明らかに示す。700-7)

- 地区の構造、現況の概説
- 現況調査によるフィジカルな要素の整理
- ヒアリング、実態調査等による活動の把握
- 景観変化要素のある計画、コントロール、その他収集資料

山手地区の位置づけ

(地区が都心部として持つ「複合性」を示し、  
計画の必要性と計画の中に常に含まれるべき  
その視座の山手のすがたを明らかにしている。)

- 良好なアベイリティのある住環境をどのように作り、育っていくべきか。
- 種々の住む誘いとして多くの歴史文化的意義を持つ山手地区の性格から、市民の活動の場としてどうあるべきか。

既存の構造を強化する姿勢

(山の手から下町まで及ぶ「計画地区」を、  
4つのエリアに分けて、それぞれ持つ  
構造を生かして環境が特化されるべきを示す。)

- 住環境整備のゾーニング  
元町、新山下、本町、山手の4地区の方向性
- 施策とゾーニング  
地区指定の種別と景観形成の基準がこれにかかると。

→ マスタープランの1°

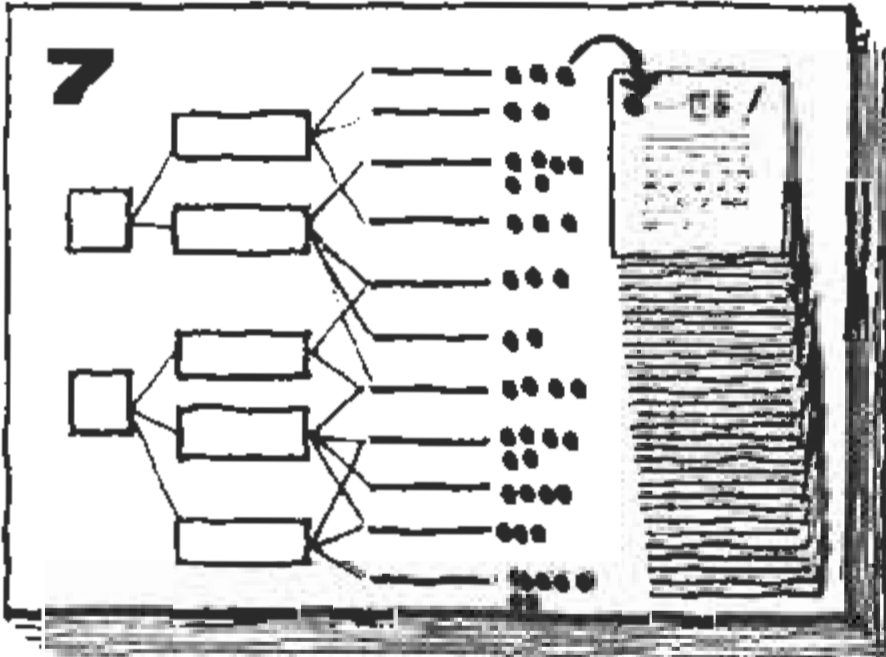
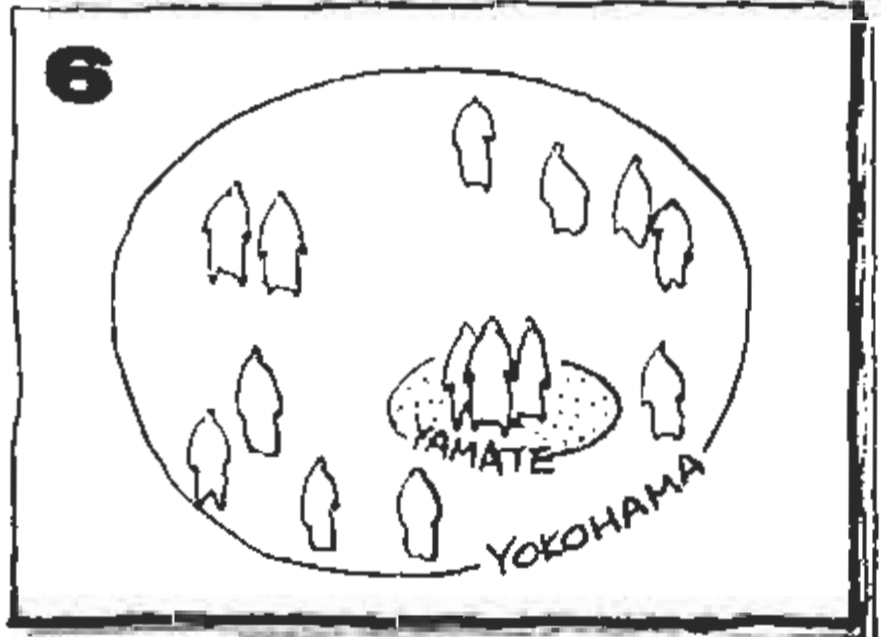
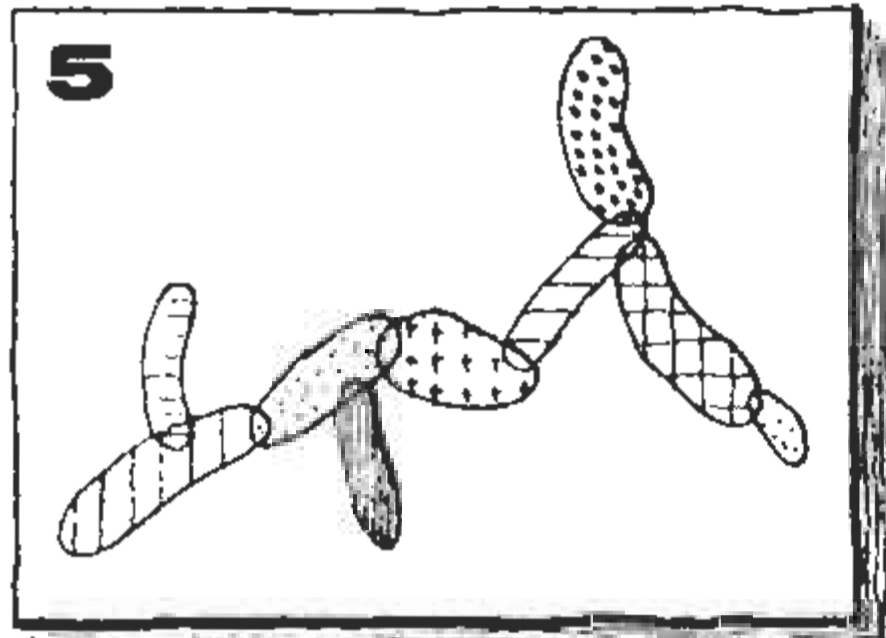
新しい構造を重ね合わせる

(山手(山の手)をコアエリアとして、本構想の中で  
戦略的性格の強い要素をひびかせる。  
多岐にわたる活動等として、異なる組み合わせの  
構造を示す。)

- 4つのエリア(コアエリア)を軸として、  
各エリアとコアエリアの関係を示す。
- 拠点「場」の提案  
コアエリアの拠点と、固有地域境界の  
活動の拠点を提案する。

→ マスタープランの2°

構  
想



実現の為に

場所から見た環境景観づくり

- 1000回 かる2.  
趣向の川方, 宅地利用, 残存地等の提案.
- ビデオから2  
その特徴を写真集, 音響のテープ, センサー装置.

山手地区を構成する各階の群に712 各々の個性を有する方向に将来イメージを提案する。道路を中心に宅地も含めた中のある景観ベルトに 対して, カルテ(丸方箋)をつくる。

横浜市民と山手根の活動の場

- 市民レベルでの参加。  
活動バザ, カフェ, トラサ.....
- 住民レベルでの参加  
折込(協賛等の赤い型, 樹木育成等の緑の型)  
バザ, 学校, 教会等の組織
- 市の立場での後押し, 広報活動。

山手地区の環境を良くしたいため, 市民は市民は何をするべきか, 折込の活動のメニューを示す。"山手折込の講"提案

考える場とプログラムをつくる。

理念から施策への70-70+

- 位置づけ, 理念から施策の洗出し。
- 施策の行  
行政の側で70-70+の施策の項目を4つのグループに分類し, 各々の内容を示す。

3.4.5.6. で抽出する個々の折込の活動を, 施策のグループに分類整理し, 施策としての性格, 折込を明らかにする。